

No. 13

平成17年6月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館内

TEL 054-653-2311 FAX 054-653-2312

E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

しづ老施協

現在、わが国には五千を超える特養があり、その大部分が四人部屋や二人部屋の従来型特養であります。これがすべて建て替えられまた改築されて全室個室になるまでには、十年、二十年という長い期間を要し、当分の間新型特養と従来型特養との併存が続くことになります。しかし、従来型特養が十人とか十五人とかの少人数の家庭的な生活単位に分けて介護するユニットケアという新しい介護方法を取り入れることは可能であります。従来型特養には、公益性・公共性といふ社会福祉法人の使命と役割を認識し、福祉の心を大切

巻頭言

特養の専門的機能の強化と新規事業への取り組み



静岡県老人福祉施設協議会

特養部会長 石川三義

にして優れた介護を実践している施設が多数あります。そういう施設は様々な専門的機能を蓄積しています。従来型特養の専門的機能としては、まず第一には、ターミナルケアの機能が考えられます。伝統ある多くの特養は利用者の重度化に伴いターミナルケアを実践しており、私たちは特養でのターミナルケアの機能を更に高めて、グループホームや老健とは質的に違ったケアの機能を強化していくことです。次に医療的ニーズの高いケアの機能があります。利用者の重度化に伴い、カテーテル留置、経管栄養や胃ろうを必要とする利用者が増えてきています。私たちの施設でも入居者の一割がターミナル期の医療的行為を必要としています。第三には、認知症・寝たきりの重度化した専門的ケアの機能があります。入居者の重度化について言えば、私たちの施設では、介護度5の方の方が四十%を占め、4の方と合わせると七十%になります。特養はこれだけ重度化しているにも拘わらず、褥瘡はゼロであり、このことは大変優れた介護を実践していることの証しであるとも言えます。また認知症のレベルも重度化しており、「痴呆の自立度」がⅢ以上の方が六十五%であり、常時の徘徊や異食、奇声を上げたりと特養でも対応がかなり難しい

ケースを専門的にケアしています。このように、特養は重度の認知症老人の専門的ケアの機能、寝たきり状態の重度化したケアの機能、ターミナルケアの機能と、グループホームや老健とは違う専門的機能を多く果たしていると言えます。特養はこのような介護の専門的機能の外に、デイサービス、ショートステイ、ホームヘルパー、居宅介護支援、在宅介護支援センターなどの様々な在宅ケアの機能、地域住民を対象とした介護者教室の開催や青少年の福祉教育の受け入れなどの地域福祉推進の機能を持っています。そこで、更にユニットケアの介護方法を取り入れることにより、これまでなかつた小規模・家庭的なケアを実現し、より質の高い高齢者介護を達成し、先程述べた特養の専門的機能の強化を実現していくことが必要でしょう。

このような素晴らしい多様な専門的機能をもつ特養を経営する社会福祉法人が、介護保険法改正により平成十八年度から開始される新予防給付事業や地域支援事業、更には地域密着型の小規模・多機能型介護老人福祉施設などの新規事業への取り組みに積極的に参加していくことが何よりも大切であると考えます。

(あしたかホーム施設長)

サービス評価に向けて

サービスの質が問われ、情報開示が求められている。

第三者評価、介護サービス情報の公表、ISO...

介護保険事業では情報の公表が来年度から義務付けられる。

県内施設の評価への取り組みは...

ISO9001取得に

に向けて

ケアハウス ラポーレ駿河
施設長 玉田直文

ISO9001とは国際標準化機構によって制度化された品質向上に関する規定です。ISO9001を取得して、運営しているということは、その施設・企業が、品質マネジメントシステム（以後QMSと呼ぶ）を構築し、維持しているということです。

今回、駿河会がこのISOを取得するきっかけは、新型特養「清響」を立ち上げ、利用者・家族の多様化するサービス要求に対する満足度向上を、さらに厳しく考えざるを得ないと思つたからでした。まずは、コンサルタントによるス

タッフ全員での二時間に及ぶ勉強会を行いました。

次にQMSの適用範囲をチーム数十四、事務局を三名体制で進めることとし、管理者を入れて九名のQMS推進委員会を発足し、方針や目標を議論し決定しました。さらに、各部署の担当者二十五名で構成する担当者会議を毎月二回行い、具体的な活動の検討や勉強会を実施しました。

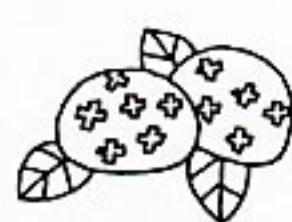
- ① ケアハウスの説明方法を明確化する
- ② ケアハウス内における情報共有の強化
- ③ 各職員、年一回以上の研修を受講する
- ④ 全利用者に対してサービスの向上を図るためにニーズを把握する

介護サービスの 情報開示の標準化 モデル事業を受けて

住吉杉の子園

施設長 金杉尚道

当施設は、平成六年に法人認可をうけた社会福祉法人新緑風会が運営を行い平成十六年五月より榛原郡吉田町住吉にて運営を行つてある特別養護老人ホーム住吉杉の子園であります。今回静岡県社会福祉協議会が静岡県より委託されたモデル事業の一環として調査にご協力させていただきました。この事業は、介護サー



去者があれば選定し、書類一式を確認、面接後、入居契約を行い、入居に至る一連の流れを表にして何時どんな書類が必要で、誰が何をするのかが、誰が見ても「ひと目」で分かれるようにしました。また、それぞれのサービスにおけるスタッフの役割と責任の所在を明確にしました。サービス実現のため、ラポーレ駿河の品質目標は

これから、外部監査や審査を経て取得となります。また、継続して質の高いサービスを安定的に提供し、コスト削減等による安定した収益も上げながら社会に貢献していくたいと思っています。

⑤ 楽しめる食事サービスを行うと定め、スタッフ全員でサービスの向上を目指して行くことにしました。

ビス評価におけるこれまでの取り組みとしては、行政による指導監査や第三者者評価などが行われてきました。しかしこれらのものが、利用者が求める評価内容と必ずしも合致しているとは限りません。

このようなことを踏まえて今回当施設では、介護老人福祉施設における情報開示項目（基本情報項目・調査情報項目）について調査に協力させていただきました。

まず、この調査の感想として調査項目が多いことに驚かされました。回答しては、はい又はいいえと答えるのですが、再度項目について資料があるのかを確認しながらなので、なかなか大変な作業でした。

また、最後の検証会議でも挙がっていましたが、重複すると考えられる項目があり、再度項目についても検討の余地があるように見受けられました。また実際に調査員の身分・資質などにもどのような方が行うべきか議論がありました。専門職がよいのかまた利用者に限りなく近い方がよいのかです。

特養として利用者様の立場にたつた情報公開を行なえるようにしなければならないと感じました。また公開するものに関しては、書類を含めた物を整備する必要性が求められる。

今回調査に協力させていただき利用者の視点で物の見方がまだまだできておらず、利用者本意のサービスを目指すには、もう一度見直すきっかけをいただき感謝しております。

奥山老人ホームの評価基準のメニューは、従来より民改費特別加算調書を準用し、全職員によりチェックをお願いしてきました。

入所者待遇については、食事、会話、レクリエーション等、社会サービス、入退所に関する項目、施設設備、施設内環境衛生、職員への教育・研修。その他、地域との連携等、十二項目について自己評価チェックを行うとともに、及第点を取れなかった項目については、改善点を記述してもらい、出来ることから改善を実施してきました。

今後、職員研修やサービスの更なる充実を図るため、第三者評価制度の充実に期待をもっています。

転換期にある現在、他施設との差別化や競争に打ち勝ち、選ばれる施設を目指して、今後も努力していくたいと思います。



全職員で自己評価

奥山老人ホーム
施設長 峰野政博

介護保険制度が発足して早六年目、措置制度のまま残った養護老人ホームでしたが、いよいよ来年四月から新養護老人ホームとして生まれ変わろうとしています。

そんな中、養護老人ホームの第三者評価の基準メニューは決まつたようですが、調査者の養成はこれから

のこと、いまから期待が膨らんでいます。しかし、その時を待つている暇も余裕もないのが現状です。

ここに、奥山老人ホームでの評価の現状（自己評価）についてお知らせいたします。

奥山老人ホームの評価基準のメニューは、従来より民改費特別加算調査書を準用し、全職員によりチェックをお願いしてきました。

入所者待遇については、食事、会話、レクリエーション等、社会サービス、入退所に関する項目、施設設備、施設内環境衛生、職員への教育・研修。その他、地域との連携等、十二項目について自己評価チェックを行うとともに、及第点を取れなかった項目については、改善点を記述してもらい、出来ることから改善を実施してきました。

これまでに、食事について採光・照明、食器、そしてもちろん盛り付けへの工夫。環境面での配慮や複式献立、イベントメニューや常設喫茶等ハード・ソフト両面での改善を順次実施し、また、苦情解決制度の確立を図った上で、入所者・利用者の訴えやすさを考慮した環境づくりに努めてまいりました。

ソフト面での改善もさることながら、ハード面での改善には、時間と経費も要求され、難しさを感じてい

写真説明
職員・利用者の意見から改善された食堂
(椅子の高さも二段階)



施設の広報活動

私たち福祉施設は、利用関係者はもとより地域の方々によつて支えられています。

広報活動は皆様の理解や協力へ繋がります。

施設独自で コー・デイ・ネー・タ―配置

ヴィラージュ富士

コー・デイ・ネー・タ― 松永 希

ヴィラージュ富士は、平成十五年十一月に開設した新型特別養護老人ホームです。住宅地の中という立地条件から、地域に根付き、開かれた施設作りを目指しています。ご家族

えていただき困りごとの相談を受けたり、ご利用者様・ご入居者様が近隣の方々のお力を借りながら住民の一人として施設で生活していただけるようになります。

その施設の情報発信手段で

ある広報誌「ヴィラージュ」は、I T・P R委員会と毎回テーマとなる部署の担当者、それにコー・デイ・ネー・タ―で編集しております。ひと目見ただけでその場のやわらかな空気、その人の息づかいを感じ取れ、そこから話が聞こえてくるような紙面づくりに努めています。毎回広報誌を通じて、地



月刊の新聞

相談員 鶴巣昌也

興味引く内容を

当施設では、「機関誌」という形ではなく、入居者の皆様を対象とした「新聞」として一ヶ月に一度発行しています。記事の内容としては、予定表、からだ美人（栄養士による栄養的な豆知識）、D rはもに診療所（医療に関する豆知識）、回想記（前月に行われた行事の写真等）、伝言板（介護予防を目的とした和楽笑

域の皆様や、福祉施設、に縁のない方にヴィラージュ富士での生活をいかに知つていただくか、感じていただかかということを大切にしています。また、施設内研修で職員が提出しているレポートの中から、身近に感じていただけるような心意気も載せています。また郵送ではなく、この広報誌を関係機関をはじめ近隣の皆様には直接お宅へ伺い、会話をしながらお渡ししています。手にとつていただいた時「最近お邪魔していいからまた行つてもいいかしら」「そういえばこんなものがあるんだけどお宅で使つていただける?」

「この間○○さんがお散歩していったね!」などの温かい言葉をお聞きすると、私たちも“ご近所さん”になつてきたのかな・・・と嬉しくなります。もっともつと身近なご近所さんになるよう努力の毎日です。



樂（わらわら）くらぶのお知らせ）、職員のコラム、そして新聞の人気コーナーとなつた IQ サプリがあります。IQ サプリとは、某 TV 局で放映されている番組で、様々なクイズ形式のものを解いていくというものです。この IQ サプリ、一筋縄ではいきません。問題が捻つてある分、答えを導き出すのに時間がかかります。入居者の皆様も「これじゃあ出来ないし・」「どうすれば出来るんだろう？」と一苦労です。この IQ サプリを掲載した目的は、居室に戻られてからも頭を使い、一種の「介護予防」として活用して戴きたいという思いからでした。掲載後は、ロビーにお仲間同士で集まり考える方、内緒で答えを聞きにくる方等、予想以上の反響を得ました。解答は次月号に掲載し、二月号では好評にお応えして特集を組んだ程です。作る側として、いかに記事に目を通して戴けるか、いかに楽しく読んで戴けるかを考え、文字の大きさや字体、関心をひくような記事となるよう工夫しています。また、四月号からは投稿箱を設置し、入居者の皆様が日頃思っていることや俳句・川柳など、新聞作りに加わっていただけるよう呼びかけている所です。『新聞』という、入居者の皆様に受け入れられやすい形にしたこと、豆知識と

して情報を知り、クイズで介護予防の一環となり、そしてなにより読んで戴けるようになりました。まだまだ内容的には物足りませんが、皆様の意見も反映させながらよりよい新聞となり、生活の一部となるよう、楽しい新聞を提供していきたいと思います。



リレー 施設の名称由来

養護老人ホーム 「光音寮」 (こうおんりょう)

当施設の名称の由来は、初代理事長が「法句經第二〇〇番」の経文から引用したものであります。

所有（わがもの）というものなくとも、われらこころ楽しく住まんかな。
光音（こうおん）とよぶ天人のごとく、喜悦（よろこび）を食物（かて）とするものならんかな。

我生已安、清・淨無・為。
以樂為食、如光・音・天。

（訳文）

私の人生はとつぐに安樂に達し、清らかで無為（ありのまま）である。安樂そのものを食（じき）とし、それに満足していることは、光音天（極光上天）のようである。

これからも、初代理事長の命名された「光音」に対する願いや想いを入れている利用者の皆さんに少しでも「光音天」の境地が実感できるような支援づくりに職員一同力を合わせて努めてまいりたいと思います。

（施設長 山田英俊）

我が施設のユニーク行事

朝霧の園まつり～見たり、聞いたり、語り合う

四季折々の季節にあった行事は地域のボランティアの皆さんの協力を得て、各事業所毎に利用者を中心に実施してきましたが、諸行事を見直して朝霧の園まつりを各事業合同で開催することとしました。利用者及びご家族、民生児童委員、ボランティア等地域の皆さんのが一堂に会し、日頃の施設生活の実情を理解していただけました。また、より良い交流を深めて利用者の皆さんの明るく楽しい生活への活力としていたくよう、多数の皆さんの参加を得て効果的な「朝霧の園まつり」を終了することができました。

- ・行事活動の紹介、作品・写真展示
- ・交流会（地域の皆さんの踊り、マジック、カラオケ等）
- ・おやつバイキング
- ・老化予防ゲーム、転倒予防体操の紹介

(特養・朝霧の園)



年中無休、喫茶『ももの花』営業中

面会のご家族様とご利用者様がくつろいだ時間を過ごしていただけるように、施設内に常設の喫茶店『ももの花』を毎日12時から16時の間営業しています。メニューも豊富で、カレーライス、ピラフから焼きそば、ラーメン、うどんなどの麺類、またケーキやマフィン、アイスクリーム、コーヒー、紅茶、ジュースなど、軽食とドリンクでおもてなしをしています。

また、月に1度は居酒屋となり、一人ひとりの好みのアルコールドリンクとおつまみを用意して、夕食を取りながらの楽しい晩酌会が行われます。ほろ酔い気分に得意な歌も飛び出して、憩いの一時となっています。

(特養・静光園)

ケアハウス

ケアハウス かささぎの郷

平成16年4月1日開設
浜松市恒武町839番地
入所定員 60名

特別養護老人ホーム

くにやす苑

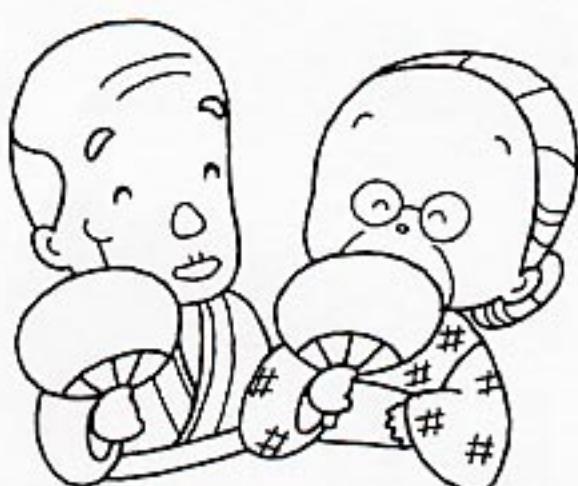
平成16年12月1日開設
掛川市国安1717番地の1
入所定員 80名



特別養護老人ホーム

シャローム富士川

平成17年5月1日開設
庵原郡富士川町北松野1071番地
入所定員 80名



新加入施設紹介

平成17年5月1日現在

感染症 相談窓口開設

個人情報保護への対応は?

静岡県では、院内感染対策として医療機関などへ専門家の相談が受けられるよう、「院内感染対策ネットワーク支援事業」を行っています。県病院協会内に電話・FAXによる相談窓口を開設しています。

感染対策の必要性は医療機関だけにとどまらず、老人施設などにおいても同様です。今回このネットワークに特養や老健を加え、相談窓口をより活用してもらおうと検討会をもつています。県老施協として、仲亀会長や看護職施設長等五名が参加しています。

感染対策地域支援相談窓口の連絡先は、電話・FAX 054-252-7107 (電話は月水金の午後のみ)。ベテラン看護師が相談にあたりますが、内容によっては専門医が後日回答することになります。また、リーフレットの配布やセミナー開催を行っています。

電話・FAX
054-252-7107
(電話は月水金の午後のみ)

しなければならない。

- ・従業者・委託先に対し必要な監督を行わなければならない。
- ・本人の同意を得ずに第三者に個人情報を提供してはならない。

・利用目的等を本人の知り得る状態に置かなければならぬ。

・本人の求めに応じて保有個人データを開示しなければならない。

・本人の求めに応じて訂正等を行わなければならぬ。

・本人の求めに応じて利用停止等を行わなければならない。

・苦情の適切且つ迅速な処理に努めなければならない。

なお、全国老施協総研では、「老人福祉施設のための個人情報保護法対策」(CD-ROM版)を推薦しています。六月初旬発売予定。

申し込みは、ケアタウン出版センタ (電話〇三一五三六六一五〇五、FAX〇三一三三五〇一五四二二)。価格は二九四〇円。

(編集委員・三重野隆志)

セクハラ防止

すべての職員が個人として尊重され、お互いの信頼関係の基に協力しあう職場は働く者共通の願いです。

当静岡市厚生事業協会では、職員や入所者の人権を守ることを主

題として「セクシャルハラスメント」「パワーハラスメント」についての研修会を実施しました。当協

会は、老人施設二ヶ所、保育施設二ヶ所、知的障害施設・救護施設各一ヶ所の運営を職員約百五十名で支えていることから、人事管理、組織管理の面からも、こうした研修の重要性を感じたからです。

第一回目の研修は、(財)21世紀職業財団の宮坂和子先生にお願いし、七十六名の職員が参加しました。また、第二回の研修では県下の養護老人ホームにも呼びかけを行ったところ、二十二名の参加希望があり、総勢八十名での受講となりました。

研修会は「職場におけるセクハラ防止対策」で、最近国内で発生したセクハラ訴訟等の事例を基にその賠償額や慰謝料の値が示され、セクハラに対する意識改革を訴えた内容の濃い有意義なものでした。

なお、当協会では現在「セクハラ等防止に関する基本方針」「セクハラ等懲戒処分に関する指針」を策定し、職員一丸となつて取り組んでおります。

(静岡老人ホーム長 青島一壽)



部会等報告

されました。

★理事会 十七年四月二十二日、県

総合社会福祉会館において、欠員に伴う理事の選任（八木儀一→鈴木正義）、十六年度事業報告・決算、カントリーミーティング静岡年度事業計画並びに収支予算（案）について審議されました。

また、総会議事に先立ち、介護レポートコンテスト（施設版）

の表彰が行われました。

特養部会

★理事会 十七年四月十五日、県総

合社会福祉会館において、欠員に伴う理事の選任（岡野有秀→月花光子）、十六年度事業報告・決算、十七年度事業計画・予算案、研修制度の改正について」が行われました。

★理事会 十七年三月三日、県総合

社会福祉会館において、欠員に伴う理事の選任（牧野務→青野容幸、松井利明→杉浦佳一）、十七年度事業計画並びに予算案、三月定例総会などについて協議されました。

委員会報告

企画調査研修委員会

★理事会 十七年三月二十八日、静岡商工会議所会館において、定例

総会の運営、新年度当初の行事予定、介護レポートコンテスト（施設版）審査結果などについて協議されました。

★委員会 十七年二月二十一日、県総合社会福祉会館において、十七年度事業計画並びに予算案などについて協議されました。

ホームページ開設小委員会

＊＊＊ 事務局人事 ＊＊＊

★委員会 十七年四月二十二日、県

総合社会福祉会館において、ホームページの具体的対応策について協議した。一般向け・会員向けページのツリー骨格（案）を作成しました。今後具体的なページ企画を作り上げていく予定です。開設の目途は十月です。



◆研修開催予定◆

編集後記



一條光雄さんが昨年十二月末で退職されました。その後任として、四月一日付で寺尾正大さんが採用となりました。

- 桜の季節も終わり、いよいよ本格的な春到来。今年のラッキーカラーはグリーンとオレンジだそうです。皆様ぜひお試しあれ。（祐）
- 介護保険制度の一体的見直しが着々と進行中で施設運営の不安が募ります。また、地震や津波などの自然災害が、忘れる前にやつてくる不安な時代ともなっています。高齢者の生活を守る使命からも、お互いの連携を深め、老施協の団結を深めてまいりましょう。

（康）

●新年度に入ったと思つていたらゴールデンウイークもとつくな終わり、もう六月です。やりたいことは、やらなければならない向こう側にあります。多忙な毎日ですが、頑張らなくっちゃ。

（隆）

●新年度に入つたと思つていたらゴールデンウイークもとつくなわり、もう六月です。やりたいことは、やらなければならない向こう側にあります。多忙な毎日ですが、頑張らなくっちゃ。